

PCフォーラム

2026 年 2 月号

<https://dappe.com>

mail:dappepc@gmail.com

JA 水郷つくばパソコン研究会会報

担当部署：JA水郷つくば営農部

営農企画課

土浦市田中1-1-4

電話 029-823-7001



研究会の皆様

いつも会の運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
寒さもまだまだ続きそうなので、どうぞご自愛くださいませ。

特集 2025年の天気をふりかえる

1月は寒気の影響が弱く日照は平年比120%、雨も平年比25%の少雨にとどまった。気温も平年比+1.2℃で暖かい日が続いた。

2月も同様に暖かい日が続いた。晴れの日が多く日照は平年比130%、また雨も少なく同じく10%だった。気温は上旬後半と下旬に寒気が流れ込んだため本来の寒さが戻ってきた。

3月上旬は低気圧の影響で雨の日が続くこともあったが、下旬は暖気が流れ込んだりして気温は高かった。

桜前線は鹿児島で平年(1991～2020年の30年の平均)より2日早く3月24日開花が発表された。宮崎でも同じ3月24日の発表でこちらは1日遅れであった。福岡は3月25日で3日遅れ、大阪3月27日で平年と同じ、京都は同じ3月27日で1日遅れ、名古屋は3月26日で2日遅れだった。東京では3月24日で平年と同じ、水戸では3月27日で3日早くなった。4月になるとさらに北上して仙台4月4日で4日早くまた新潟は4月6日で平年と同日、青森4月17日で5日早い、さらに北海道へ渡って函館4月23日で5日早い札幌も同じ4月23日で8日早い、稚内では5月7日で6日早くなり、北へ行くほど平年より進んだ。

梅雨については気象庁より確定値が発表(9月1日付)された。それによると九州南部が5月16日(平年5月30日)、九州北部も同じ5月16日(〃 6月4日)に始まって近畿 東海まで5月中旬に梅雨入りとなった。関東甲信は5月22日で平年の6月7日より半月も早くなった。梅雨明けは九州南部が6月27日(平年7月15日)、九州北部も同じ6月27日(〃 7月19日)四国 中国 近畿 東海まで(〃 7月17日～19日)同じ6月27日に明けたと発表された。関東甲信では6月28日で平年の7月19日より20日も早い梅雨明けだった。

その理由としてラニーニャ現象の影響で、太平洋高気圧が強まり夏型の気候になった。また偏西風が北へ寄って、梅雨前線の活動が早く弱まったためとしている。

次の表は2021年から2025年までの土浦地方で観測された気温とその平年値との差を集計し比べたものです。

2021年～25年月平均気温の平年値との差・土浦アメダスより

月／年	2021差℃	2022差℃	2023差℃	2024差℃	2025差℃
1月	-0.1	-0.8	+0.2	+1.4	+1.2
2月	+2.1	-0.9	+1.1	+1.9	+0.4
3月	+3.3	+1.0	+3.7	+0.4	+1.6
4月	+0.6	+1.2	+2.1	+3.1	+1.5
5月	+1.1	+0.3	+0.5	+1.7	+0.4
6月	+1.1	+1.2	+1.7	+1.7	+3.4
7月	+0.3	+1.9	+3.1	+3.2	+3.0
8月	+0.7	+0.6	+2.8	+2.3	+2.5
9月	-1.1	+0.8	+3.6	+3.1	+2.8
10月	+0.1	-0.9	+0.3	+2.7	+0.7
11月	+0.8	+1.6	+1.5	+1.2	-0.2
12月	-0.1	-0.4	+1.4	-0.2	+0.6
差の年平均	+0.7	+0.5	+1.8	+1.9	+1.5

ここ3年ほどは6月から暑くなり9月いっぱいまでの4カ月は、まさに盛夏状態となりました。

その6月から9月まで4カ月間の月平年値と月平均気温の差は、2021年で+0.3℃、22年+1.1℃、23年+2.8℃、24年+2.6℃、25年+2.9℃となっていて特にこの3年間は異常に高くなりました。実際には春先から10月中旬まで平年より気温が高い温暖な状態が6カ月以上続いています。その原因として前年の24年と同様強力な太平洋高気圧が日本列島へ張り出して偏西風が大きく北へ蛇行したためとしている。

2025年の台風 台風1号の発生は6月11日でこの70年余りで5番目に遅い発生となった。

発生が遅いにもかかわらず発生数は27個で平年の25.1個とあまり変わらなかった。

上陸したのは3個で、台風5号は7月15日に北海道襟裳岬に上陸、そのまま北上してオホーツク海に抜け温帯低気圧となった。台風12号は沖縄近海で台風となり8月21日鹿児島県に上陸、翌日四国沖で温帯低気圧となった。台風15号は9月5日宮崎県沖から高知県に上陸その後和歌山県に再上陸して横切り静岡県の海岸沿いを東に進んだ。伊豆半島から房総半島をぬけ9月6日太平洋で熱帯低気圧となった。静岡県を通過中竜巻がいくつも発生して数百棟が全半壊する大きな被害が出た。

暖かい日が10月中旬まで続いたあと寒暖の差が急に大きくなり、夏模様から一気に秋深い気候となった。

紅葉は暖かい気候でかなり遅れると見られていたが、気温が下がったことで各地は平年より3日から1週間の遅れで発表された。水戸11月27日で7日遅い、宇都宮11月28日で8日遅い、長野11月19日7日遅い、東京11月23日で5日早い、前橋12月4日で4日早いというところだった。

毎年開催されるCOP30(国連気候変動枠組条約第30回締約国会議)ですが、今年はブラジルのアマゾン川の河口都市ベレンで開催されました。11月10日から10日間の予定でしたが話し合いがまとまらず、1日延長されて22日閉幕しました。

ブラジルでもアマゾンの熱帯雨林が無秩序で勝手な開発が広範囲でされていて、国際的に問題視されている中での開催でした。

その中で、CO2排出量世界第2位のアメリカは大統領が温暖化に全く関心がなく国としては出席しませんでした。

そのかわり、各州知事やいろいろな組織の代表者が多数来て活発な議論や活動したのは明るいことでした。

そのCOP会議の中に「化石賞」との賞があります。これは温暖化対策に後ろ向きな国だとした賞で日本が今回で6度目の受賞をしました。

その理由として●化石燃料設備の効率化を研究推進してそれをほかの国まで輸出していること(これはただの設備の延命で解決策ではないのだそうだ)●オーストラリアで天然ガスパロプロジェクトに多額の資金援助をしている(化石燃料を推進しようとしている)●会議の中で公正な議論に日本は後ろ向きだとしている。

しかしそんな中で、世界一の排出国である中国では、首都北京の大気汚染が数年前からひどく対策は取っているのですが、今まで一度も選ばれてないのは疑問が残り納得がいかないし不満だ。

※今月の担当は狩野さんでした。

QRコードは2025年4月からの年間予定です

2026年2月

2/03 WEB

2/10 定例会 講座

2/17 WEB

2/24 定例会、PCフォーラム発行など
3月

3/03 WEB

3/10 定例会、講座など

3/17 WEB

3/24 定例会、PCフォーラム発行など
3/31 WEB

